

職場体験レポート

作成者

四国中央市立川之江南中学校

2年 氏名：石川 耕平

職場の紹介

株式会社大昌鉄工所

創業：昭和34年

住所：四国中央市川之江町

特色：製紙機械の製造

従業員：120人

大昌鉄工所では、産業用機械装置の製造、特に特殊紙製紙機械の製造を行っています。

大正8年に福崎鉄工所として、製紙機械の製造を開始しました。

事業所の写真



こんな職場です!



職場で体験したこと



まず工場の見学をしました。多くの人が機械の点検や部品作りを行っていました。僕たちが最初に体験したことは、ボルト締めでした。ボルト締めは思った以上に力のいる仕事でした。ボルトを締め終わると、締め忘れがないか確認するためにマーカで印をつけていきました。ボルトを締めるということ一つでも大変な作業だと思いました。

次に、小さな部品を作りました。小さな部品でも重さがあり、大変な作業でした。

最終日には、神経を使う仕事をしました。品質調査です。品質調査は、部品の寸法が合っているかどうかを機械で調べるというものでした。僕たちはそれを実際にさせてもらいました。部品に強く当たると機械が

止まるなどとても難しい作業でした。また、測るところによってやり方も違って大変でした。僕たちは教えていただきながら作業しましたが、一人ですとなるととても大変だと思いました。でも、とてもやりがいのあるものだと思います。



体験学習を通して

うれしかったこと、うまくできたこと

大変な作業でしたが、ボルトを強くしっかりと締めることができました。部品を作るときも丁寧に作ることができました。部品作りを完成させたときは、達成感があり、うれしかったです。

大変だったこと、失敗したこと

どの作業も大変でしたが、一番大変だったのは品質調査です。強くしすぎて一度機械を止めてしまい、難しいと感じました。部品作りでは、組合せを間違えて一から作り直しました。どの作業も大変で難しかったです。



感想

働く人の姿から学んだこと

そこで働いている人は、一つ一つ丁寧にされていて、自分も少しのことでも丁寧にしていこうと思いました。また、一人一人が自分の仕事に誇りをもっていると感じました。僕も自分がしていることに誇りをもちたいと思いました。

全体を通して学んだこと

5日間の社会体験学習から、仕事をすることは本当に大変だと思いました。僕たちは5日間だけでしたが、親は毎日仕事をしており、そのおかげで生活ができると思うと感謝しかないと思いました。

